

千歳市・恵庭市

2024年4月

夜間・休日当番医案内



日	曜日	内科・小児科系	外科 (けが等の外傷)
6	土	夜間・休日急病診療所 14:00～翌6:30 Tel. 25-5891	えにわ病院 14:00～20:00 Tel. 33-2333
7	日	夜間・休日急病診療所 9:00～翌6:30 Tel. 25-5891	恵み野病院 9:00～20:00 Tel. 36-7555
13	土	夜間・休日急病診療所 14:00～翌6:30 Tel. 25-5891	恵み野病院 14:00～20:00 Tel. 36-7555
14	日	夜間・休日急病診療所 9:00～翌6:30 Tel. 25-5891	えにわ病院 9:00～20:00 Tel. 33-2333
20	土	夜間・休日急病診療所 14:00～翌6:30 Tel. 25-5891	えにわ病院 14:00～20:00 Tel. 33-2333
21	日	夜間・休日急病診療所 9:00～翌6:30 Tel. 25-5891	恵庭第一病院 9:00～20:00 Tel. 34-1155
27	土	夜間・休日急病診療所 14:00～翌6:30 Tel. 25-5891	恵み野病院 14:00～20:00 Tel. 36-7555
28	日	夜間・休日急病診療所 9:00～翌6:30 Tel. 25-5891	えにわ病院 9:00～20:00 Tel. 33-2333
29	月・祝	夜間・休日急病診療所 9:00～翌6:30 Tel. 25-5891	恵み野病院 9:00～20:00 Tel. 36-7555

開設日	内科・小児科系診療 《夜間・休日急病診療所》	外科診療 (けが等の外傷) 《救急当番医療機関》
平日 (月～金曜)	20時～翌朝7時 (受付6時30分まで)	18時～21時30分
土曜日	14時～翌朝7時 (受付6時30分まで)	14時～20時
日曜日、祝日	9時～翌朝7時 (受付6時30分まで)	9時～20時
年末年始 (12月29日～1月3日)	休診	9時～翌朝9時 (内科・外科系)

注) 外科診療とは、救急当番医療機関でのけが等の外傷の軽症外来患者の診療です。外科診療日には、内科医不在のため、内科診療はできません。夜間・休日急病診療所で受診してください。夜間・休日急病診療所は、子どもから大人まで対応するために内科・小児科系診療を行っておりますが、小児科専門の診療所ではありませんので、あらかじめご理解のうえ受診されますようお願い致します。

千歳市 4月の診療日程

日	曜日	外科系	内科系
6	土		休日夜間急病センターTel. 25-6131
7	日	休日夜間急病センター※ Tel. 25-6131	休日夜間急病センターTel. 25-6131
13	土		休日夜間急病センターTel. 25-6131
14	日	休日夜間急病センター※ Tel. 25-6131	休日夜間急病センターTel. 25-6131
20	土	市立千歳市民病院※ Tel. 24-3000	休日夜間急病センターTel. 25-6131
21	日	恵庭第一病院※ Tel. 34-1155	休日夜間急病センターTel. 25-6131
27	土		休日夜間急病センターTel. 25-6131
28	日	休日夜間急病センター※ Tel. 25-6131	休日夜間急病センターTel. 25-6131
29	月・祝		休日夜間急病センターTel. 25-6131

夜間・休日救急診療体制

	外科系 救急当番医療機関	内科系 休日夜間急病センター
平日	17時～深夜0時	19時～翌朝7時
土曜日	12時～深夜0時 ※20日は14時～20時	14時～翌朝7時
日曜日、祝日 年末年始 (12月29日～1月3日)	9時～深夜0時 ※7日は9時～14時 ※14日は9時～19時 ※21日は9時～20時 (整形外科領域は対応不可) ※28日は10時～20時	9時～翌朝7時

※上記の診療時間と異なる日程がありますので、ご留意願います。
※当日の救急当番医は急きょ変更になることがあります。最新情報は千歳市ホームページにてご確認ください。
※体調不良のときは、「ちとせ健康・医療相談ダイヤル24」をご利用ください。

ちとせ健康・医療相談ダイヤル24

千歳市にお住まいの方がご利用になれます。

☎ 0120-010-293

(24時間対応 通話料・相談料無料 携帯可)

IP電話からは03-5524-8500(通話料有料)



北海道小児救急電話相談

夜間の子どもの急な病気やけがなどの際に、看護師や小児科医師が電話により助言を行います。

Tel 011-232-1599 (相談時間：毎日19時～翌朝8時)

【短縮ダイヤル】#8000

(※この短縮ダイヤルは、プッシュ回線、携帯電話からご利用いただけます。)



ちとせの介護医療連携の会

介護、医療の現場から シニアライフサポート

医療法人社団いずみ会北星病院 事務長 道下 貴裕



第79回 2025年問題について

今からさかのぼること10年、2014年の新語・流行語大賞に「2025年問題」がノミネートされました。2025年まであと1年となった今、2025年問題について今号で振り返ってみましょう。

皆さんもご存知の通り日本は高齢化が進展しています。1970年には7%だった高齢化率が1994年には14%、2022年には29%を超え、今後も上昇し続けて2050年には37%を超えると推計されています。その経過の中で2025年は団塊の世代の方々全員が75歳以上になる年で、日本人の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上になると推計されており、加えて日本の人口は減少していきます。

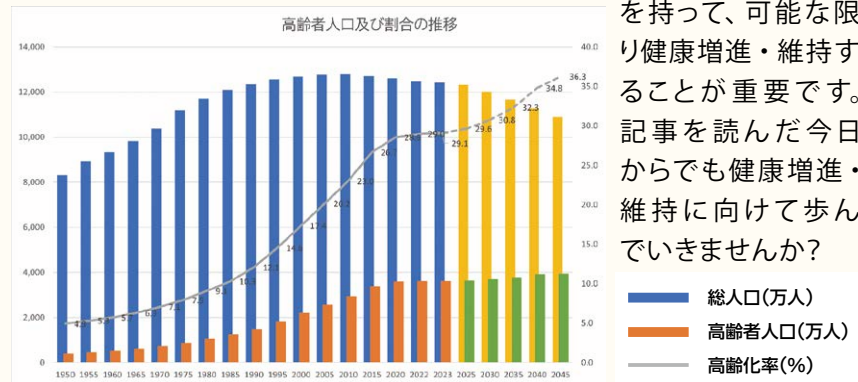
この人口構造の変化で起きる問題が2025年問題です。もっとも深刻な課題として取り上げられているのは労働力人口の減少です。また、高齢化した中小企業経営者の半数ほどが後継者不在と言われており、そのまま廃業していくとGDPが低下してしまいます。それは国の税収が減少し、年金受給者や医療・介護が必要な国民が増えて社会保障費が増

大していくうえ、医療・介護従事者が不足する等の問題につながっていきます。

2025年問題への対策として打ち出されているのは、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせるように住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築、一定以上所得のある高齢者の医療費負担の見直し、女性や高齢者の就労促進、外国人労働者の積極的な受け入れ、労働力を確保するための多様な働き方・雇用形態、健康寿命の延伸、デジタルトランスフォーメーションによる生産性の向上等、後継者のいない経営者に向けた事業承継支援などです。

2025年問題は2026年になったら終わるのではなく、その先への通過点に過ぎません。今後さらに進んでいく人口構造の変化に伴う問題への対策は前述の対策も有効ですが、国民一人ひとりが自身の健康に関心

を持って、可能な限り健康増進・維持することが重要です。記事を読んだ今日からでも健康増進・維持に向けて歩んでいきませんか？



怪盗ちゃんからの挑戦状

解決編

ちやんと3月22日号に掲載された

「怪盗ちゃんからの挑戦状」

君は解けたかな？

答え合わせをするよ!

9	6	1	7	5	4	3	8	2
4	8	7	3	6	2	1	9	5
2	5	3	1	8	9	7	4	6
7	1	9	5	4	6	2	3	8
3	2	5	9	7	8	4	6	1
6	4	8	2	3	1	9	5	7
5	7	6	4	2	3	8	1	9
8	9	4	6	1	7	5	2	3
1	3	2	8	9	5	6	7	4

ナンバープレース

答え テブクロ(手袋)

コ	ン	テ _A	ス	ト		ト
ー		ツ	キ		ク _C	リ
ト	ロ _D		ツ	ケ	モ	ノ
	カ	ツ	プ		ノ	
タ	タ	ミ		サ	ス	ケ
イ		キ	ブ	ン		ー
コ	ブ		タ	マ	ツ	キ

クロスワードパズル